ポイント思考をしても大富豪にはなれない　-ポイント陰謀論-

ライブラリ

店員「後で付与できませんよ」
大王「消費した時間を返せますか？」
店員「えっ？」
大王「あなたがポイントの説明を始めたら手が止まりました。ポイントの説明はお店側にとって重要でも，私からすれば時間の消費です。また，あなたが「ポイント付与と払出し」に価値観を見出しているように，私には私の価値観があります。他人から価値観を押し付けられる筋合いがないのは，わかるはずです」
店員「最初に説明しているのに後からポイント付与を申請して来るお客様がいるんです。ポイントカードを作ってないので手遅れです」
大王「ポイントが付与されても大富豪になれません。大富豪でもポイントカードを所有している人がいますが，ポイント思考で財産が築けるならみんな大富豪になってます。彼らが大富豪になれた要因は他にあります」
店員「お金持ちになれなくても，ポイントは店内ではお金代わりに使えますし…」
大王「ポイントや後日キャッシュバックというやり方はおかしいと私は思ってます。利用者に還元したいなら，例えば精算時に割引きしてもらえば，ポイント残高もキャッシュバック時期も気にする必要がなくなります。
私は覚醒時，起きている最中はず～と頭を使っています。考えてます。余計な思考をすると，大切なことに脳の計算資源が使えなくなります」
店員「でも，高額なお買い物ですから…」
大王「現金支出と付与ポイント，どちらの商品を買った方が得かな。ポイントが貯まったら何に使おう。予定より多く貯まったから別の商品にしようか。ポイントカードを出す手間，仕舞う手間があるが，手間よりもポイント。ポイントカードが増えたのでカードフォルダを買ったけど，相変わらずカバン内で場所を占有している。ポイント無しの買い物はあり得ないので，ポイントカードを取りに帰る。カードフォルダが三つになったけどすべてポイントのため…。
手間がかかるし，時間と場所と計算資源のムダ使いです」

店員「それはそうですけど…」
大王「私はポイントカードがなくてもこの店でお買い物します。
ポイントは自社で買い物をしてもらう囲い込み戦略ですし，庶民が庶民である続けるための陰謀でもあります。
ポイント思考は止めて，どうすれば自分の事業が発展するか考えた方が単純で答えが出しやすいです。ポイント思考はムダに複雑です」

最終更新日 2026-11-06

ライブラリ　まこと